

教育用

IRONOWA Color



IRONOWA

IRONOWA COLOR 補色 / 補正色専用 ヘアカラー



薬剤選定をシンプルにすることを目的とし色の原理原則をベースに設計した補色/補正色専用カラー

開発の経緯 (補色)



カラー剤の進化により一本で簡単に染めることができる薬剤が増えたことで薬剤の染料比率がわかりにくく薬剤選定が難しくなった。この課題を解決するため「薬剤ごとに役割を決めることでヘアカラーの失敗をなくす」をコンセプトに開発。

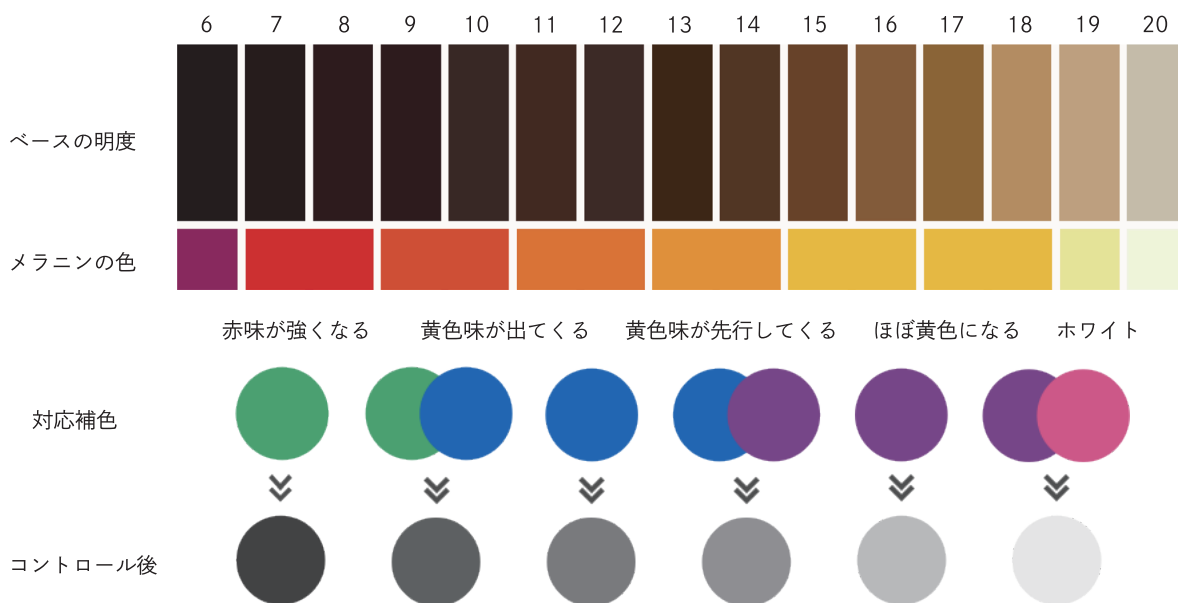
開発の経緯 (補正)



お客様一人ひとり、過去の施術履歴や毎日のお手入れによって生じる髪の色ムラ。そして、色ムラが原因で起きるヘアカラーの失敗。この課題を解決するために「一人ひとりの髪色に合わせて、色味の補正やベースカバーできるカラー剤」をコンセプトに開発。

補色は固定するという新常識

ベースを一度「無彩色」にコントロールし、目的色をブレない発色に



カラー剤の役割分担を明確にする3要素

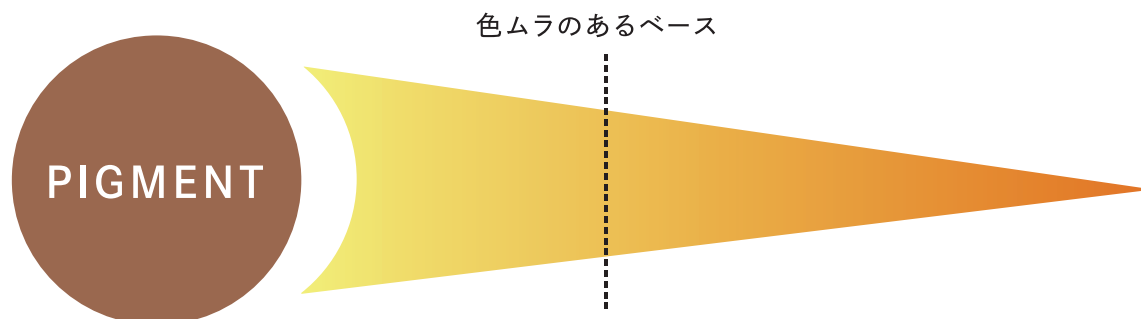
シンプルな薬剤選定の為には、カラー剤を3要素に区分けして考える



補正色 補正色専用 ヘアカラー

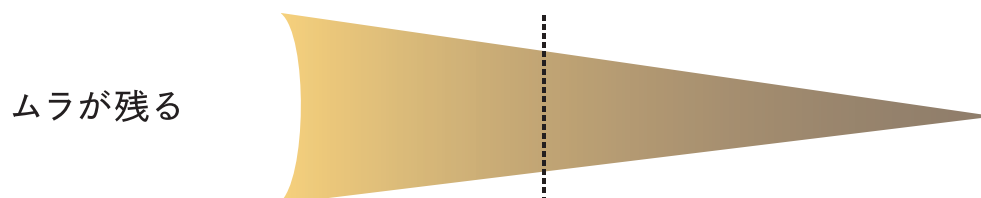
補正色専用カラー「PIGMENT（ピグメント）」

ピグメント：ベースの色素差や明度差を補う、ベージュブラウン系染料（補正）

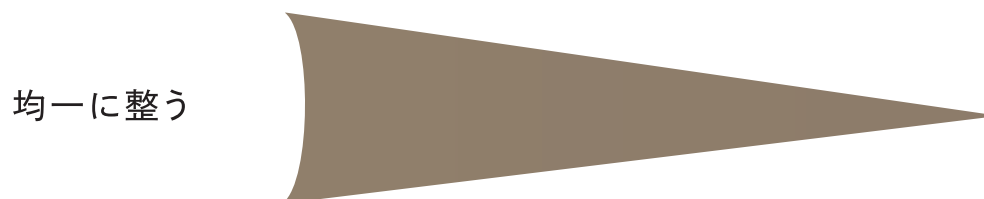


カラーのイメージ

ムラのあるベースに補正色なしでカラーした場合



ムラのあるベースにピグメントを補正色として使用した場合



PIGMENTの特徴

- ・ ベースの色素差を補う（補正）
- ・ 明度・彩度の調整（トーンコントロール）
- ・ 柔らかいベージュブラウン要素の付与

LINE UP

補色/補正色特化型カラー剤

シンプルな思考とシンプルな薬剤で、カラーデザインを自由にコントロール

BASE	補色				補正色	色量調整
	BLUE	PURPLE	GREEN	PINK	PIGMENT	CLEAR
白						
19Lv						
17Lv						
14Lv						
10Lv						
黒						

※ 毛束はイメージです。条件より多少の色味の違いがあります。

※ 使用上の注意をよく読んで、正しくお使いください。

※ ご使用前には毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。

※ 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方には、絶対に使用しないでください。

IRONOWAカラーを使った 失敗しない薬剤選定

かんたん3STEP

STEP
01

目的色を決める



- ・目的色は白い毛束に染めたカラーチャートを見て決める
- ・できれば単色
→なくても2色までのMIXを推奨
- ・色味の名称や明度設定は特に気にしなくてOK

STEP
02

補色を決める



BASE	GREEN	BLUE	PURPLE	PINK
19Lv			1% +	1%
18Lv			3% +	1%
17Lv			5%	
16Lv		5% +	5%	
13~15Lv		10% +	5%	
9~12Lv		10%		
6~8Lv	5% +	5%		

補色目安表を参考に、色味と配合量を決める

ベースにムラがある場合

STEP
03

補正色を決める



ベースの状態	PIGMENTの分量(1剤総量に対して)
色ムラなし	-
色ムラ弱 (明度差 1Lv~2Lv)	10%
色ムラ中 (明度差 3Lv~4Lv)	20%
色ムラ強 (明度差 5Lv以上)	30%~

補正色目安表を参考に、配合量を決める

補色目安表

明度別のアンダートーンに対しての補色の色味・配合比率の目安

BASE	GREEN	BLUE	PURPLE	PINK
19Lv			1% +	1%
18Lv			3% +	1%
17Lv			5%	
16Lv		5% +	5%	
13～15Lv		10% +	5%	
9～12Lv		10%		
6～8Lv	5% +	5%		

※ 目的色の量に対して

補正色目安表

ベースの色ムラに対しての補正色の配合比率の目安

ベースの状態	PIGMENTの分量
色ムラなし	—
色ムラ弱 (明度差 1Lv～2Lv)	10%
色ムラ中 (明度差 3Lv～4Lv)	20%
色ムラ強 (明度差 5Lv以上)	30%～

※ 目的色の量に対して

- ※ 明度別アンダーの色味はイメージです。髪質や条件により多少の色味の違いがあります。
- ※ 上記の比率目安表はイロノワカラーを使用した時の目安です。
- ※ 他メーカーのコントロールカラーを補色として使用する際には比率調整が必要になります。
- ※ 残留色素によって比率は変動することがあります。
- ※ 0.5Lvの違いは近い明度で薬剤選定を行うようにしてください。